

スポーツYAMATO

交流節

貝事に3連勝

車やっとな打った

大依が5年ぶりの勝利投手



交流節で不振を極めていた4番キャプテン車亜紀子が厚木SCとの一戦でついに蘇った。5回裏、古賀のタイムリーヒットで1点を先制。ツーアウト2・3塁の場面で車に打順が回ってきた。前日は満塁のチャンスで代打を送られ、悔しい思いを味わったが、その思いをぶつけるかの様に必死にボールに食らいつき、次第にタイミングがあい、きれいに放ったセンター前ヒットは2点タイムリーとなり、試合を決める一打となった。苦しんだ末にやっとな打ったヒットに試合後は安堵の表情を見せた。打った本人は『ホントすみませんでした』と謝ってばかりだったが、この1本は彼女が復調するきっかけとなるだろう。後半戦は車キャプテンがチームを支え、持ち味である勝負強さに一層期待が持てる。歴史と伝統ある大和電機女子ソフトボール部のキャプテンは車亜紀子あなたしかいないのだから。これから頼むぞ『車キャプテン』



試合で10イニングを投げたとは思えない投球をこの日も見せ、3-0で厚木SCに勝利した。専門学校の先輩でもある大依に5年ぶりの勝ち星をプレゼントした。エース大串は猛暑の中、大車輪の活躍で交流節3連勝をチームにもたらしてくれた。

大依嬉しい勝ち投手に
前日から先発投手を告げられていた大依。この日はブルペンからボールに切れがあった。試合に入ってからキャッチャー堀のサインが自分の投げたという大依は実に5年ぶりに勝ち投手となった。勝利の美酒ならぬ勝利の『どら焼き』をたらふく口にしたいのは言うまでもないだろう。後半戦に向けて第3の先発投手に名乗りを上げた。